

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1471001378
法人名	有限会社 リラ福祉サービス
事業所名	こすずめの里
訪問調査日	平成21年2月23日
評価確定日	平成21年3月28日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 年 月 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1471001378		
法人名	有限会社 リラ福祉サービス		
事業所名	こすずめの里		
所在地	244-0004 横浜市戸塚区小雀町2058-11 (電話) 045-852-0362		
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成21年2月23日	評価確定日	平成21年3月28日

## 【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <b>平</b> 16 年 11 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	16 人 常勤 1 人, 非常勤 15 人, 常勤換算 4.37

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建て	1 階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円)	<b>無</b>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<b>有</b> ( 100,000 円)	有りの場合 償却の有無	<b>有</b> /無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1		名	要介護2 名
要介護3	7 名		要介護4 名
要介護5	2 名		要支援2 名
年齢	平均 84 歳	最低 68 歳	最高 96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	グラニ&グランドクリニック(湘南クリニック)
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成16年11月に開所した1ユニット、平屋建てのグループホームである。経営は有限会社リラ福祉サービスで、訪問介護・居宅介護支援事業所が併設されている。JR大船駅からバスで10分程度、バス停から徒歩で7~8分の高台にある。国道1号線の新宿交差点から近いが、梅林や畑が点在し、四季折りの自然を楽しみながら散歩の出来る環境にある。また晴れた日には、ホームから富士山が望める。平成19年11月にグループホームに認知症デイサービス・ショートステイを機能追加し、地域交流の促進に貢献している。食事に関しては、経営者である代表が管理栄養士の資格を持っており、栄養バランスの考えられたメニューとなっている。建物の周囲には、会長がモモや甘夏などの実のなる木や野菜を育てており、入居者と共に収穫を楽しんでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での指摘事項は無かったが、平成19年にデイサービスとショートステイを開設したことから、既存の入居者が混乱をしないよう、対応を心掛けてきた。2~3ヶ月で混乱も薄らぎ、デイサービスやショートステイの利用者が帰る時に、「また来てね!」と入居の方達が言えるような関係が築けるようになった。スタッフとして入居者の歴史に添える様、黒子に徹する取り組みもしている。</p>
	②	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の外部評価については、管理者が職員やケアマネジャーの意見を取り入れながら、まとめた。居室担当者は決めずに、全ての職員が全ての入居者の状態を把握している。作成した自己評価は、職員全員に目を通してもらい、日々のケアの反省点・問題点を受け止め、より良いケアにつなげるよう努力している。</p>
重点項目	③	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年12月10日に開催した。出席者は自治会の役員・民生委員・利用者の家族も多数参加して下さり、それぞれの立場から忌憚りの無い意見を頂く場となっている。主な議題としては、○一年の行事報告 ○地元の中学校の福祉体験学習の受け入れ ○戸塚区の社協の主催の「夏の福祉体験スクール2008」の受け入れ ○ボランティアの報告など。また、地域の老人会の要請で、キャラバンメイトとして「認知症の正しい理解」の講演会を開催する予定となっている、など、情報交換の場となっている。</p>
重点項目	④	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の方の訪問機会が多いので、その際に意見・苦情なども含め、話を聞くような環境作りを心掛けている。家族会は特に設けていないが、訪問の際や行事などを通して、家族同士が顔見知りになっており、情報交換も出来ている。また、運営推進会議にも出席して頂いて、率直な意見を頂いている。毎月1回、「こすずめ便り」と共に領収書・請求書も郵送している。「こすずめ便り」は、生活記録・診療報告・行事報告などが書かれたものに、個人の生活を手書きでお知らせしている。</p>
重点項目	⑤	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>スタッフに近所の方が多く、地域との連携は開設当初からスムーズにしている。家族や知り合いの方がボランティアで多数来て下さり、手話サークル・踊り・ハワイアン・語り部・サキソフンの演奏・また手作りのオカリナを携えて演奏に来て下さる方等、地域との交流が盛んである。その際、近隣の方も誘いし、一緒に楽しんで頂いている。散歩の道筋には、入居者の方達に楽しんで頂けるようにとの配慮から、近所の方が花等を植えて下さっていたりと、嬉しい報告もある。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は、事業所の立ち上げの時に、代表者含めスタッフ皆で話し合っ決めてものであり、「認知症があっても普通に人生を全う出来る様」との思いから、作りあげている。	○	一人でも多くの人に「認知症の正しい理解」をしてもらえるよう努力したい、との思いでいる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフは理念を共有して、日々のケアの中で実践している。		継続して実施していく。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域の行事には参加し、事業所の行事にも参加していただく等、良い関係性が出来ている。		継続して実施していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	より良い介護にするため、自己評価・外部評価の意義を理解し、問題点を受け止め、日々の業務に生かしている。		継続して実施していく。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回開催した運営推進会議では、出席の方々から率直な意見を頂き、ケアの参考にしている。また、老人会から「認知症の正しい理解」の講演会を要請されるなど、情報交換の場となっている。	○	定期的な開催を目標にしている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	代表がケアマネージャーであり、デイサービス・ショートステイも併設されているため、市の担当者・区の高齢支援担当者との連携は密である。		継続して実施していく。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、生活記録や受診報告と個人の生活状況が書かれた「こすずめ便り」と共に、金銭報告も郵送されている。		継続して実施していく。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口は設置されているが、家族の来訪が多く、その都度話を聞くような関係作りに努めている。		継続して実施していく。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	勤務体制の工夫により、職員の異動や離職は少なく、馴染みの職員を配置できるよう努めている。		継続して実施していく。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市や県主催の研修に参加し、ミニカンファレンスで報告の機会を持っている。また、ケアマネージャーや介護福祉士の受験者にはシフト上の便宜を計っている。		継続して実施していく。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	戸塚区のグループホーム連絡会に参加しており、色々な事例の勉強会などをして情報交換に努めている。		継続して実施していく。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新しい入居者には、スタッフが関わる時間を多く取るようにし、徐々に馴染めるように工夫している。また、ショートスティをご利用なさった方で入居された方もいる。		継続して実施していく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の方の生活歴から、お一人お一人の得意なことを把握し、魚をおろしたり、一緒にママレード作りをしたり、編み物をして頂いたり、支えあう関係性を作るよう、努めている。		継続して実施していく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が望む過ごし方、家族の望む過ごし方を把握し、支援している。		継続して実施していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフで意見やアイデアを出し、本人や家族とも相談しながらより良いケアプランを作成するよう、努めている。		継続して実施していく。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月ごとにモニタリングを行い、本人・家族・スタッフで意見交換しながら、現状に応じたケアプランを作成している。		継続して実施していく。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ショートステイやデイサービスなどを含め、家族や利用者には合ったサービスを心掛けている。(世話をしている方のケガや病気等の事情を考慮し、柔軟な対応をしている)		継続して実施していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	福祉施設専門の「グリニ&グランドクリニック」から、2週間に一度往診があり、要望があれば訪問歯科もある。		継続して実施していく。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族とは「重度化した場合における対応に関わる指針・同意書」の書面を取り交わし、主治医・家族・本人と繰り返し話し合いを行って、方針の共有に努めている。		継続して実施していく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「一人ひとりの歴史に添えるよう黒子に徹する」をモットーに、ケアをするよう心掛けている。		継続して実施していく。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	手を出し過ぎないように、本人の出来ることは見守りだけで、寄り添うように対応している。		継続して実施していく。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	庭で出来た夏みかんでママレードを作ったり、誕生会のケーキも一緒に手作りしたりと、楽しみながら関わられるよう心掛けている。食事の準備や片付けも、出来るだけ皆が関わられるような見守りもしている。		継続して実施していく。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は、月・水・金曜日だが、髪染めをした時や希望がある時は、その都度対応している。		継続して実施していく。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ショートステイやデイサービスの方達と共に、色々なレクリエーションを楽しんでいる。また、園芸や料理等の得意な方の力が発揮出来る様な場面作りも心掛けている。		継続して実施していく。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	御自身の日用品の買い物を兼ねて、ドライブを楽しんだり、通院のついでにドライブを楽しんだりしている。また週に4日は、散歩の日を設けている。		継続して実施していく。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	スタッフ全員で共有して、鍵をかけないよう努めている。		継続して実施していく。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣人の元消防署長の方に消火器の使い方を教えて頂き、3ヶ月に一度、利用者とスタッフ共に避難訓練を実施している。		継続して実施していく。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	代表である経営者が管理栄養士の資格を持っており、トロミや嚥下食など、一人一人に合った食事の提供をしている。		継続して実施していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを行い、生活感や季節感を取り入れている。		継続して実施していく。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や、季節の花や飾りつけなどに囲まれた、居心地の良い空間となるよう工夫している。		継続して実施していく。



# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	有限会社 リラ福祉サービス
(ユニット名)	こすすめの里
所在地 (県・市町村名)	横浜市戸塚区小雀町2058-11
記入者名 (管理者)	安藤 智子
記入日	平成 20年 2月 14日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	1人でも多くの人に「認知症の正しい理解」をしていただけるよう努力したい。 キャラバンメイトとして地域の老人会対象に開催予定である。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	皆で理念を作り4年経過している、再識する機会。 新しいスタッフも増えているので再度取り組みたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	家族や地域の方の見学希望時は時間を制限せずいつでも受け入れている。 運営推進会議を増やしていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	旬の野菜や果物、花等届けて下さる方が多勢いるが利用者手作りの物でお返しができる様取り組んでいきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	週1回地域の方の(1名)ボランティアでオカリナ演奏に来てくださる。 三ヶ月に1回ボランティアで(6名)コーラスに来てくださる。
項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	デイサービス(週3回のみ3名)・ショートステイ(1名)を受け入れている。 夏には小学生5名・冬には中学生5名、福祉体験場所として受け入れた。	○	小規模の利点を最大限に生かし、認知症を理解していただけるような取り組みをしていきたい。
---	--	---	---	---

### 3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々のケアの反省、問題点を受け止め次年度に向けて努力している。	△	自己評価が職員全員できるように心掛けていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	夫々の立場から忌憚のない意見を聞き理解し合える場としてサービス向上に繋げるように努力している。	○	ホーム側の出席者を固定せずスタッフの全員の意識を高められるよう努めたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	戸塚区高齢支援担当者・原宿地域ケアプラザとは連携がありサービス向上に取り組んでいる。	○	家族の代理として特養待機4年の方のお世話ができた。介護家族が突然入院された時の受入れ相談の回数が増えている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修や新聞等で知識はあるが現在必要な人はいない。	△	学ぶ機会を作りたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の話をよく聞き、見過ごさないよう注意を払う事に努めている。	○	利用者との向き合い、安心して話ができる環境を持てるよう心がける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	---------------------------------	------	----------------------------------

### 4. 理念を実践するための体制

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約にはゆっくり時間をとっている。又説明日と契約日は別々としている。	○	入居日又は前日に契約している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個別対応の散歩時や居室への訪室時等、利用者の意見、不満、苦情等聞き取り、向き合っている。	○	昼スタッフだけでなく、夜勤スタッフも介護福祉士等のベテランで時間をかけ個別対応をしている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「こすずめ便り」で報告している。	○	生活記録・診療報告・バイタル・体重測定・日々の生活状況を分かりやすく伝えている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪機会が多いので、来訪された時、話が出来る様な環境を心がけている。	○	家族の声と向かい合い、ケアに反映させていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の引継ぎ時、その時々意見を取りいれている。	○	重度利用者の入浴方法・失禁の為のラバーシーツ購入等。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	近隣に職員を確保している。	○	徒歩の職員が多い。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員を確保している。	○	勤務形態を工夫している。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアマネージャーや介護福祉士、受験者にはシフト上便宜を計っている。	○	意欲ある職員には個々の育成計画をたてていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会には参加している。訪問歯科医(介護保険審査会のメンバー)や同業者との交流は多くなっている。	○	運営者はリーダー実践研修で他ホームで実習させていただいた。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	朝、時間をとり、ミニカンファレンスを心掛けている。本や新聞等の有効記事等コピーして配布したりしている。相談し易い環境作りを心掛けている。	○	ストレスを抱えた職員へのカウンセリングの時間をとっている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	リーダー研修や資格修得時等給与に反映させている。人材の育成を肝に銘じている、又年配職員には指導育成を依頼している。	○	職員の年齢や経験、勤務状態は大きく違っても個々が夫々に全力投球できるよう調整していきたい。マニュアル通りでなく「考えて工夫できる」職員を育てたい。

## Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族だけでなく本人も来訪していただき本人納得の上のサービスを心掛けている。	○	ショートステイを利用して本人に見極めていただく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	経済との問題、利用者の問題行動等、初期には隠されることが多いので時間をかける様心掛けている。	○	家族や利用者の不利になる事でも話していただける様努力をしていきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	デイサービス(3名)ショートステイ(1名)を受け入れ2年目を迎えている。	○	デイサービス・ショートステイの慣れてきた生活の中で、支援を見極めるよう努力している。

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新入居者の方には、スタッフが時間を多くとり、なじめるよう工夫している。	○	個別対応等配慮している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生きる姿勢、事の道理、料理、歌等、教えて頂く事が多い。	○	生活暦からスタッフが指導いただく事もある。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族個々の悩み、相談事等は一緒に考えていく様努めている。	○	健康食品等雑誌等の誇大広告への各企業への問い合わせ等、積極的に家族の力になるよう心がけている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の調整役を心掛けている。	○	物事をストレートに伝えないよう配慮している。 職員は黒子役に徹している。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の為に道端に花を植えて楽しませてくれる人がいる。 友人や家族との電話の取次ぎを心がけている。	○	サークル仲間との電話連絡、手紙のやり取りの仲介役を、とぎれることのないよう心がける。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員全員が共有して把握している。	○	孤立しないよう気配りをしている。 席替え等で対処することもある。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙等の転送はしている。	○	相談があれば便宜を計っていきたい。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が望む過ごし方の支援、本人本位の尊重。	○	人生の先輩として丁寧な言葉使いを心がけている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント表の記録の徹底、本人の家族からの把握に努める。	○	個々の記録の把握に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人が望む過ごし方の支援、本人ペースの尊重。傾聴を心掛けている。	○	言葉使いを丁寧に心がけている。「人の役に立ちたい！」「人の世話をしたい！」という強い要望を受けとめている。

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、職員スタッフとの話し合い、意見やアイデアを反映したケアプランの作成を心がける。	○	毎日の生活記録を活かした、ケアプランの作成を心がける。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて、見直しを行い、モニタリングを行い、本人、家族、スタッフと意見交換をしながら新たな計画作成を実施。本人の状態に応じたケアプランの作成を行なっている。	○	本人の状態に応じたケアプランの作成に努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフの現状の声、記録を確認しながら見直しをしている。	○	情報の共有を努めている。

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ショートステイ、デイサービスの送迎時間等は家族の要望に合わせている。	○	利用者に合ったサービスの提供を心がけている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々の来訪の機会が多くなっている。地域の方々と協力しながら支援している。	○	家族の演奏・踊り等は、定期的となっている。消防署の講習会には参加している。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特養や他のグループホームの相談員と話す機会があった。デイサービスやショートステイで気になることはケアマネジャーに連絡している。	○	朝のミニカンファレンス等話し合いでの共有の為、ノートに記入する。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特養待ちの利用者の相談等、対応していただく。包括センターの要望で夏には小学生5名・冬には中学生5名の福祉体験実習を受け入れた。	○	キャラバンメイトの開講予定しているが出来れば支援センターとの協働を考えたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医は福祉施設専門のクリニックで4クリニックが連携して出来ている。緊急時不在と時は他のクリニックから来里してくれる。	○	2週間に1回の訪問診療制度・薬も届けてもらっている。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医は内科だが、認知症に詳しい為、診断や治療を行っている。必要に応じて、他の医療機関への対応を行なう。	○	利用者家族の希望で月1回、市内だけでなく茅ヶ崎や藤沢の専門医にお連れしていた、必要時は対応している。
	○看護職との協働			



45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員により、日常の健康管理や健康相談を行い、状態の把握に努めている。 本人や介護スタッフよりの申し送りによる情報交換を密に行なっている。	○	看護職員はケアマネージャーなので健康面だけでなく、きめ細かい対応ができる。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時の為の医療機関との連携をとり情報交換に努めている。 退院時のサマリーからの情報や必要に応じて電話での確認等、行なっている。	○	病院でのカンファレンスには、必ず参加している。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医と本人、家族と繰り返し話しあい全員で方針を共有している。 方針の共有を行なっている。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医と家族と共にスタッフも係り支援している。今後の変化に備えて検討を行なっている。 より好く暮らせるために、主治医と家族と連絡を密にしている。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	サマリーを記入し、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。 必要に応じて電話連絡等、密に行なっている。	○	本人への聞き取り調査の場として十分に時間をとっている。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	忘れてしまわれている事、何度も繰り返される話等、その都度にスタッフが個人対応をしている。	○	誇りやプライバシーを損なわないよう人としての尊厳を守ることを心がけている。 スタッフは病気前(認知症)の生活歴を共有している。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	散歩時や夜間時、又事務所や台所にも自由に出入り出来る雰囲気作りを心掛けている。	○	散歩時のコース選択や体操、歌等の参加も自己決定をできるような言葉かけを心がけている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の体操・合唱等、声かけはさせていただきますが一人一人のペースで参加している。	○	利用者のペースを大切に寄り添って対応している。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	髪カット・髪染めと、望まれるように、髪型、染め色等ご本人が決めている。	○	希望時にスタッフが対応している。 希望があれば美容院にお連れする。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お好みに応じて米飯・パン食・うどん・そば等を選べるようにしている。 一緒に食事の準備に参加され片付けも協力していただいている。	○	個々に合った仕事をしていただいている。 意欲的な利用者が多く、仕事を作るのに追われることが多い。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お好きな飲み物を(ホット・コールド等)伺って、摂っていただく。 コーヒーやお茶を自由に飲んでいる利用者もいる。	○	コーヒー・お茶等ご自由に飲まれている。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導を心がけ排泄の習慣がつくように支援している。	○	全介助の方は二人介助で対応している。
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	失禁・失便・髪染めをした時等、ご本人の希望によりその都度対応している。	○	入浴希望があるとき等対応している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご本人の希望を支援している。	○	スタッフは生活記録を共有している。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩、調理、お菓子作り、園芸、歌謡、お掃除、ゲーム等お一人お一人のお好みや経験を活かせる支援をしている。	○	体を使ったボーリング・ゲートボール・ボール投げ等、車椅子の方でも立上り喜ばれるので細心の注意をしながら支援をしている。 ケーキ作り・パン作りも手伝っていただいている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身の買い物等の精算している。	○	お金を持っていないと不安になる利用者には家族と一緒に対応している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご自身の買物を兼ねドライブを楽しまれている。週4回は散歩の日がある。	○	希望者や糖尿病患者は雨以外は散歩にお連れしている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外食・買物を楽しまれている。初詣・お花見等の機会を作っている。	○	家族の方が見えられ、帰られる時、駅まで一緒に送っていく。 月2～3日自宅に帰られる利用者もいる。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族・親戚の方への手紙を書くための葉書・封筒の準備、ポストへ投函等支援している。	○	了解をとり家族の生活に配慮しながら支援している。
	○家族や馴染みの人の訪問支援	訪問制限無く、お茶がたい、ご本人の近況報告等を手伝い		

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間制限無く、お茶にしやし、ご本人の近況報告等を于短にお話させていただく。 人数の多い時等リビングを使用していただけよう工夫している。	○	スタッフ全員が対応できるようにしている。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	移動時・散歩時は、車椅子のベルトはしますが、停止したときは、ベルトははずす。	△	全介助の方、体調が悪く座位が困難な等ベルトを使わせていただくこともあるが、常に拘束しないケアも念頭において取り組んでいる。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は掛けていない。	○	全員共有していて鍵はかけないよう努力している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全確認は全てのスタッフが心がけている。	○	収集癖のある利用者には気持ちを配慮しながら安全確認をしている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご自分の髪の毛・爪を鉗を使用し切られる方がいる為、目に付かぬ場所へしまっている。	○	家族了解のもと、編み棒を持ち込んでいる利用者があるが、安全確認はしている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	知識をしっかり学び意識をして事故防止に取り組んでいる。	○	転倒がなくても骨折が起きていることもある、過剰防衛のないよう、又万一事故に直面した時、スタッフの離職の引き金とならないよう取り組んでいる。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訪問医への緊急連絡、救急車要請への落ちつた対応するための人目で分かるマニュアルの張り出し訓練している。	○	避難訓練は定期的に行っている。 防火管理者講習に参加している。
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近所の消防署員の方の指導を受け、利用者とスタッフ共に、避難訓練をしている。	○	隣人に元消防署長がいらして連絡をすることになっている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日頃より、ご家族の方と話し合いをしている。	○	大腿骨頸部骨折を防ぐ為の、プロテックパンツ等話あう機会を作っている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	訪問医への連絡、指示をいただき情報を共有し対応している。	○	看護師のスタッフがいる。(週2回) 24時間対応の訪問医と日曜・祭日受入れの病院の確保をしている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援をし症状の変化があれば直ちに訪問医へ連絡し指示を仰いでいる。	○	服薬表を共有している。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の日課として、トイレ介助をしている。	○	水分摂取量を増やし、果物・野菜・豆等メニュー作りを考慮し、体操にも参加している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後義歯の方は義歯の洗浄をし、義歯でない方は、声かけにて口腔ケアをしている。	○	訪問歯科医に口腔ケアの指導を受けている。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指示を受けてながら支援している。	○	水分量の注意、嚥下の悪い方へは、トロミ剤の使用や、きざみ食を用意している。
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い・うがいを励行している。 居室には次亜塩素酸ナトリウムを含ませた濡れタオルを掛け 空気中の菌を殺菌している。	○	毎年11月にインフルエンザ予防接種をしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・ふきん・タオル等の消毒に努めている。	○	まな板・包丁は野菜用、魚肉用に分け、必ず食品には火を通すように努めている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には寄せ植えをし、庭には畑・果物木等があり親しみやすく工夫している。	○	玄関には鍵を掛けず出入りしやすい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の壁飾り切り花等工夫している。	○	家族の方、近隣の方が花を届けてくださる。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各自の椅子があり、テーブルは、皆顔が見えるように工夫している。	○	共同空間はテーブルが3個、リビングにもテーブルがある。壁際にも椅子を設置し思い思い座っていただく。
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が居室の壁飾り・カーテン・ソファー・鉢花等を工夫されている。	○	ご家族が使い慣れた古いタンス・季節の鉢植え・リボンフラワー等飾られている。
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各部屋の換気をさせていただき、その後適温にさせていただくよう配慮している。</p>	○	<p>次亜塩素酸入り濡れタオルを掛け、乾燥を防いでいます。加湿器を使用している利用者もいる。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ・浴室には手すりがあり、車椅子の方でもつかまり立ちが出来る様工夫されている。 昇降できるベッドやサイドレールの設置など。</p>	○	<p>昇降できるベッドの設置</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>スタッフがゆっくり向きあい、話を聞くことで、混乱を最小限にと工夫している。</p>	○	<p>スタッフが共有し一体となり対応している。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>畑で成長した野菜・果物を利用者様と一緒に収穫を楽しんでいただいる。</p>	○	<p>裏にはにはミニ池があり、メダカを飼育している、夏にはホテイアオイの花が楽しめる。 100個以上収穫できるみかんの大木が2本ある。</p>

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・朝・夕嚙下訓練を目的に歌・体操（口腔体操含）を取り入れている。  
（全スタッフが指導でき、マニュアル通りでなく個々に工夫している）
  - ・「役に立ちたい！」「人の世話をしたい！」気持ちのある利用者が多く実践できるよう取り組んでいる。
- 洗濯たたみ・裁縫・料理（ケーキ作り・餃子作り・もやしの根とり・フキの皮剥き・マーマレード作り・簡単パン作り）等